



人道の港

ー伝えていく「命」と「平和」ー

敦賀ムゼウム

1902年から1941年にかけてヨーロッパとの交通の拠点だった国際港・敦賀。ポーランドの孤児や、「命のビザ」を持ったユダヤ人難民が敦賀港に上陸したことに関連した展示が行われています。ユダヤ人難民と敦賀市民の証言や残された資料を見学し、「命」と「平和」について考えます。

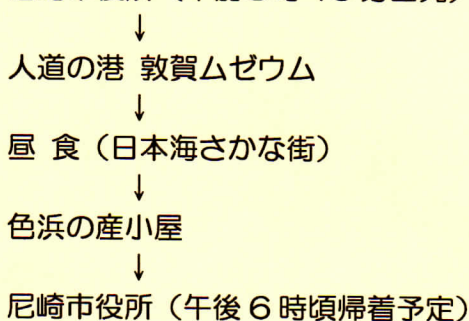
*日にち

平成31年 **3**月**6**日(水)

*行き先 福井県敦賀市
人道の港 敦賀ムゼウム / 色浜の産小屋

*集合 午前8時 尼崎市役所西側

*行程 尼崎市役所(午前8時15分出発)



*参加費 3,000円(昼食代、保険代他)

*募集人数 **18**名(先着)

*応募方法 尼崎市コールセンターにて先着順で受付

2月6日(水)～17日(日)

TEL/06-6375-5639

月～金 午前8時30分～午後7時

土・日・祝日 午前9時～午後5時

電話でのお申込みが困難な方は尼同教事務局にFAXまたはEメールでお問合せください。

杉原千畝(すぎはらちうね)と「命のビザ」

ユダヤ人難民たちは、ナチスの迫害から逃れるため、日本通過ビザを求めてカウナスの日本領事館に押し寄せました。しかし、当時の日本外務省は、杉原千畝領事代理にビザ発給を許可しませんでした。彼は悩み苦しんだ末、外務省に背いてビザ発給を決断します。そしてそのビザで、6,000人あまりの難民が救われたのです。

産小屋(うぶごや・さんごや)

村の共有施設で多くは集落からはずれた場所にあります。女性はこの「産小屋」で出産し、産後もしばらくこの小屋で過ごしました。日本書記に「鶺鴒屋(うがや)」という産所の記事も見られる古い習俗ですが、お産に対する禁忌に根ざすものといわれています。

昼食は、お得なミールクーポンを使って「日本海さかな街」のお好みのお店でお召し上がりいただけます。新鮮な海の幸をご賞味ください。

尼同教
会員募集中!
お気軽に事務局まで
ご連絡ください♪

【お問い合わせ】

尼崎市人権・同和教育研究協議会 事務局

〒661-0024

尼崎市三反田町 1-1-1 (社会教育課内)

TEL/06-4950-0405

FAX/06-4950-5658

E-mail/ama-syakaikyoku@city.amagasaki.hyogo.jp

